



夕刊 日四十二月九年二十和昭 発行日四十二月九年二十和昭

天気豫報 今晩は北東の風 明日は北東の風

### 見世物の憶ひ出

三重苦の聖女と片輪女 赤井 嶽 男

去年だつた花とを當つた。 込んで松ヶ岡公園の通路 筋に『地獄極楽』の見世物

草かり 島田 忠夫 朝きりよ 草の場

講談 狂言仇討 (二) 金子 士郎 書

聞車奇禍 (其二) 珠妻 小野務平

悲劇 狂言仇討 (二) 金子 士郎 書

講談 狂言仇討 (二) 金子 士郎 書

聞車奇禍 (其二) 珠妻 小野務平

悲劇 狂言仇討 (二) 金子 士郎 書

講談 狂言仇討 (二) 金子 士郎 書

聞車奇禍 (其二) 珠妻 小野務平

文で上京し、さきに捨てられた前夫との間に出来た二児を抱へて再び暮らして

二かご刈つて 朝の露が 光つて

二かご刈つて 朝の露が 光つて

二かご刈つて 朝の露が 光つて

二かご刈つて 朝の露が 光つて

二かご刈つて 朝の露が 光つて

二かご刈つて 朝の露が 光つて

二かご刈つて 朝の露が 光つて

二かご刈つて 朝の露が 光つて

二かご刈つて 朝の露が 光つて

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

廢坑 廢坑の金銀子がこよひ灯をうてる 廢坑へ非吹ける草を踏み行かな

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下

戦争と文學 中谷 生 文學中には『戦争文學』なる呼称があつて、日本下



根本 産科 電話三四

根本 産科 電話三四

根本 産科 電話三四

根本 産科 電話三四

根本 産科 電話三四

根本 産科 電話三四

上原家政婦會 會主産婆 上原通子 電話二二二番

木村病院 入院隨時 病室完備 電話一六四番

宮戸屋商店 電話(總機部)二一五番

石綿ムシカマド 實用新案 第一八七三〇號

互融會事業近况 事業報告昭和十五年

高久病院 内科 外科 小兒科

北川外科 外科一般 内臓外科

釜屋商店 金物問屋 平市五丁目

